

たしかめようのない

2024.11.15-17 Kyoto / 11.26-28 Yokohama

THEATRE E9 KYOTO アソシエイト・アーティスト公演
シリーズ「ここは彼方 (Here Is Beyond)」

カクレエゴナシ

新作『たしかめようのない』
に寄せて——穴迫信一

SNSを通して〈圧倒的な他者の存在〉の可視化が進んでいます。そこで理解しようのない、例えば虐殺を肯定するような意見を目にした時、私たちが見ているこの世界はどうやら同じものではなく、人によって捉えている「現実」が違うということに気がきます。だとしたら私たちは、何と連帯して今を生き抜いていくべきなのか。本公演では、それらを〈圧倒的なフィクション〉を用いて検証したいと考えています。THEATRE E9 KYOTO アソシエイト・アーティスト公演の最終年度として、E9を創作拠点とした3年間の成果をより多くの観客の皆様様に鑑賞・批評いただきたいと考え、ツアー公演を実施します。

ブルーエゴナクはE9での3年間の創作テーマを「Here Is Beyond(ここは彼方)」とし、これまで「死」や「夢」をモチーフに、私たちの現実を脅かし得るフィクション=想像力について描いてきました。それらを経て、最終年度ではむしろ「死」や「夢」と対立し、私たちが明らかなものとして認識している「現実」そのものをモチーフにしたいと考えています。

KYOTO

2024.11/15[金] 16[土] 17[日]



アフタートーク [各回の終演後にゲストとのアフタートークを実施します。] *敬称略

- ① あごさとし (演出家、THEATRE E9 KYOTO芸術監督)
- ② 倉田翠 (演出家、ダンサー、akakilike 主宰)

*アフタートーク追加可能性あり。詳細は決定次第 HP,SNS にて発表いたします。

京都公演
チケット
取扱い



R7 TICKET
SERVICE
(当日精算)



THEATRE E9 KYOTOオンラインチケット

(THEATRE E9 KYOTO HP内) (事前精算・当日精算)

<https://askyoto.or.jp/e9/ticket/20241115>

TEL 075-661-2515(10:00~18:00) ※不定休



会場

京都府京都市南区東九条南河原町9-1
THEATRE E9 KYOTO



- ▶ JR「京都」駅八条口から徒歩約14分
- ▶ JR・京阪「東福寺」駅から徒歩約7分

両公演共通

- ◆受付は開演の45分前。開場は開演の40分前 ◆全席自由席 ◆未就学児入場不可
- ◆車椅子のお客様egonaku@gmail.com (制作部) まで事前にご連絡ください。
- ◆チケット発売日 9月13日(金) 10:00-

THEATRE E9 KYOTO

THE SAISON FOUNDATION



YOKOHAMA

ナカカミセンター参加公演

2024.11/26[火] 27[水] 28[木]



アフタートーク [各回の終演後にゲストとのアフタートークを実施します。] *敬称略

- ③ 佐々木敦 (批評家)
- ④ 山本卓卓 (範由遊泳代表、劇作家、俳優)

*アフタートーク追加可能性あり。詳細は決定次第 HP,SNS にて発表いたします。

横浜公演
チケット
取扱い

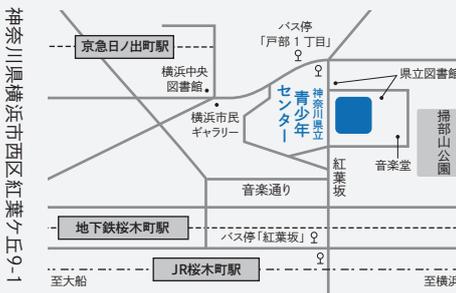


R7 TICKET
SERVICE
(当日精算)



会場

神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9-1
スタジオHIKARI



- ▶ JR「桜木町」駅北改札西口から 徒歩約8分
- ▶ 横浜市営地下鉄「桜木町」駅南1出口から 徒歩約10分
- ▶ 京急「日ノ出町」駅から徒歩約13分

料金(両公演共通)

- ◆一般前売=3,500円 ※ ※KYOTO EXPERIMENT 2024『スタンドパイミー』半券のご提示で、500円キャッシュバックいたします。
 - ◆U30前売=2,500円
 - ◆U22=1,000円 (各回先着10名)
 - ★『Here Is Beyond』シリーズ鑑賞パス(事前精算のみ)
- 同シリーズ過去2作品『Doudemioi shi』『波間』の記録映像URL (期間限定) 付きチケットです。各券種に+1,000円でご購入いただけます。

アソシエイト・アーティストとしての3年間のテーマ

「ここは彼方(Here Is Beyond)」

今日の世界は、これまでの「自身と他者の共存」という希望を前提としていた時代から大きく変容し始めています。個人の世界のみの成立を望む人たちが増えることで、現実とは大きな意味を持たず、相対的にフィクションがその存在感を強めているように感じます。今や、ここ(現実)と彼方(フィクション)を明確に区別する術は無く、それは演劇作品の制作においても逃れられない感覚です。Here and Beyondではなく Here Is Beyond の視点で、現実とフィクションの関係を描きます。

お問い合わせ (ブルーエゴナク制作部)

egonaku@gmail.com 090-6299-5590

<http://buru-egonaku.com/>